



〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山 867

社会福祉法人 土佐希望の家

幡多希望の家医療福祉センター

TEL ◆ (0880)66-2212 FAX ◆ (0880) 66-2215

HP ◆ <http://www.hatakibou.jp/>

Mail ◆ hataki01@mb.gallery.ne.jp

<発行所> 幡多希望の家医療福祉センター

<発行日> 2022年10月1日<発行責任者> 河原 敏郎



「最初の気持ちを大切に！」

看護部 生活支援科科长 那須 千亜紀

みなさんお元気ですか!! まだ日中は暑い日が続きますが、さすがに台風が過ぎると朝夕はしのぎやすくなってきました。病棟では担当が秋の季節を少しでも感じて欲しく取り組みを考えていますが、今だに新型コロナウイルスは生き残りをかけて変異を繰り返し、猛威を振るっています。本当に悲しくなります。誰のせいにもできない新型コロナウイルスのために、利用者の楽しみである大規模なイベントは中止となり、家族にも自由に会えない日々が続いています。改めて、新型コロナウイルスの脅威にさらされて人間の弱さを感じさせられます。目に見えない小さなウイルスが、人間を脅かしています。利用者の生活状況も大きく制限されています。

利用者や家族から「子供たちと触れ合えないことが寂しい」「自由に散歩や外出もできないなんて」「病棟の中も自由に行き来できないなんて」という言葉が聞こえてくると、どのようにお返事をしたらよいのか悩みます。しかし、立ち止まるゆっくりとした時間をもらったと思い、この事態だからこそ今までのイベントや取り組みとは違った、小規模でも個々に楽しめるイベントや取り組みが何か出来るのではないかと考えているところです。状況は変わっても、楽しい時間を少しでも感じて頂くために工夫して計画しています。

また、こんな状況下でも変わらず取り組みを続けられている、「ミュージック・ケア」に関して少し紹介したいと思います。ミュージック・ケアとは、加賀谷哲郎氏(日本音楽療法協会を設立・1983年没)が創案された集団音楽療法のメソッドを基本に、その方法と理論を宮本啓子と日本ミュージック・ケア協会が体系化したものです。また、メソッドは、心身の発達に必要な情緒の安定や、身体機能の維持改善、発話などのための刺激や動作に応じて作曲された、オリジナルな音楽を使用しているところに特徴があります。

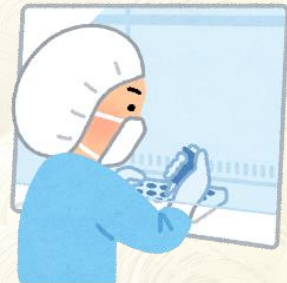
定義として、「音楽の特性を利用して、その人がその人らしく生きるための援助をすることであり、子どもの場合は子どもの持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助をすること」である。どんなに重い障がいがあっても、人は本来一生成長しようとする生命力をもって生まれてきていることから、ここで言う「その人らしく生きるための援助」とは、「生きる力・成長しようとする力を回復すること」だと考えられています。

私とミュージック・ケアの出会いは、平成9年4月に入職し重度の障がいを持つ利用者の方に何かできる取り組みはないか・・・と同僚二人と南国市にある知的障がい者施設「南海学園」の職員の行っているミュージック・ケアの勉強会に、やみくもに参加したことが出会いでした。職員の方々もとても明るく楽しそうに、ミュージック・ケアを実践しているのを見て自施設でも実践できるのではないかと、22年間少しずつ学ばせていただきました。気持ちは伝播していくものだよ、自分が楽しくね。その教えを大切に実践しています。

何か得意分野があるわけでもない私が、今までの自分自身に唯一自信となっていたものが「ミュージック・ケア」にあります。〈だれでも・どこでも・いつでも楽しめるミュージック・ケア〉あかちゃんからお年寄り、障がいがあってもなくても、全ての人を対象とすることが出来ます。コロナの現状でも、場所も選ばずベッド上でも楽しめます。閉ざされた空間の中でも一瞬にして雰囲気が変わり、利用者もそうですが、職員の表情も変わる瞬間が大好きです。ミュージック・ケアを学ぶ中での出会いから、人を支える仕事に就く上で大切にしなければならぬ事を学びました。「ミュージック・ケア」を通し、本当に楽しい時間を共有させていただけることを実感し、感謝の日々です。これからも利用者や家族や職員の心が元気になってもらうために、自分も楽しみながら皆の笑顔を引き出せるよう頑張っていきます。



診療部紹介



診療部は、薬剤科・検査科・栄養科・リハビリテーション科の4つの科で構成されており、病棟利用者・在宅利用者の方々がより良い生活ができるよう様々な形で支援させていただいております。



薬剤科

入所・外来患者の方のお薬を調剤しています。処方箋が出たら電子カルテにて情報を得て処方内容を確認した後、間違いの無いよう正確な調剤を心がけています。



検査科

血液・尿などを用いて調べる検体検査と心電図・脳波の生理検査を行っています。

適切な診療支援ができるよう、また、安心して検査を受けて頂けるよう努めています。



栄養科

【安全でおいしく夢のある食事作り】を目標に、個々の摂食機能に応じた食事の提供を心がけています。

コロナ禍で多忙ではありますが、スタッフ一同、声を掛け合い、助け合いながら利用者の健康と幸せを目指します。



普段の食事以外で、様々なイベントでは、見て楽しむ、味わって楽しめるクリスマスケーキ、おせち料理等を提供しています。



スイッチを押して、かき氷製作中



歩行訓練中



お箸練習中



リハビリテーション科

病棟と在宅の往来もコロナ禍で制限がありますが、感染予防対策を施し、利用者の方々の機能を維持・改善し、少しでも豊かな生活が送れるようにリハビリスタッフは奮闘しています。



長期休暇だより(夏季)

この夏の長期休暇も、プール、ドライブ外出、Tシャツづくり、夏祭りなど、新型コロナウイルスの感染対策をしながらでしたが、みんなで精一杯楽しんで、思い出をたくさん作りました!!



手作りTシャツアート展

それぞれの感性でデザインしたTシャツを展示しました!!



夏祭り:射的ゲーム

みんなで準備して、室内で夏祭りをしました。意外に難しいけど、楽しい射的ゲーム。真剣に狙っています♪



夏
ま
ち
て
露
置
く
草
の
ブ
ナ
の
小
径
(みち)
霧
の
奥
か
ら
鶯
の
声
(星の王子さま)

幡多希望の家の周りでは、夏の早朝によく朝霧が発生します。そして霧の中から、きれいな鶯の声が聞えてきて、昔詠んだ和歌(うた)を思い出しました。

夏山に登り、早朝のブナ林を歩いている時、何処で鳴くのか澄んだ鶯の声が霧の奥から聞こえてきました。夏になっても、山の上ではなお、春告鳥のきれいな声が楽しめるのだとの感想を和歌(うた)にしました。

編集後記

皆様、今年の夏はいかがお過ごしでしたか。今年の夏も昨年同様新型コロナウイルスの感染拡大は収まっていますが、基本的な感染対策をしながら、日々過ごしていければと思います。今号では、幡多希望の家の診療部を特集しました。利用者の皆様がより良い生活を送ることができるよう、各部署がそれぞれの業務を行っております。ぜひ、ご覧ください。